

# 2024年3月期 決算補足説明資料

2024年5月13日



品川リフラクトリーズ株式会社

# 目次

---

1. 連結業績ハイライト
2. 営業利益（連結）の増減要因
3. セグメント別売上高及び営業利益
4. セグメント別概況 ①耐火物
5. セグメント別概況 ②断熱材
6. セグメント別概況 ③セラミックス
7. セグメント別概況 ④エンジニアリング
8. 2025年3月期通期 業績見通し
9. 2025年3月期通期 EBITDA（連結）の増減要因見通し
10. トピックス（M&A・JV）

# 1.連結業績ハイライト

(単位：億円)

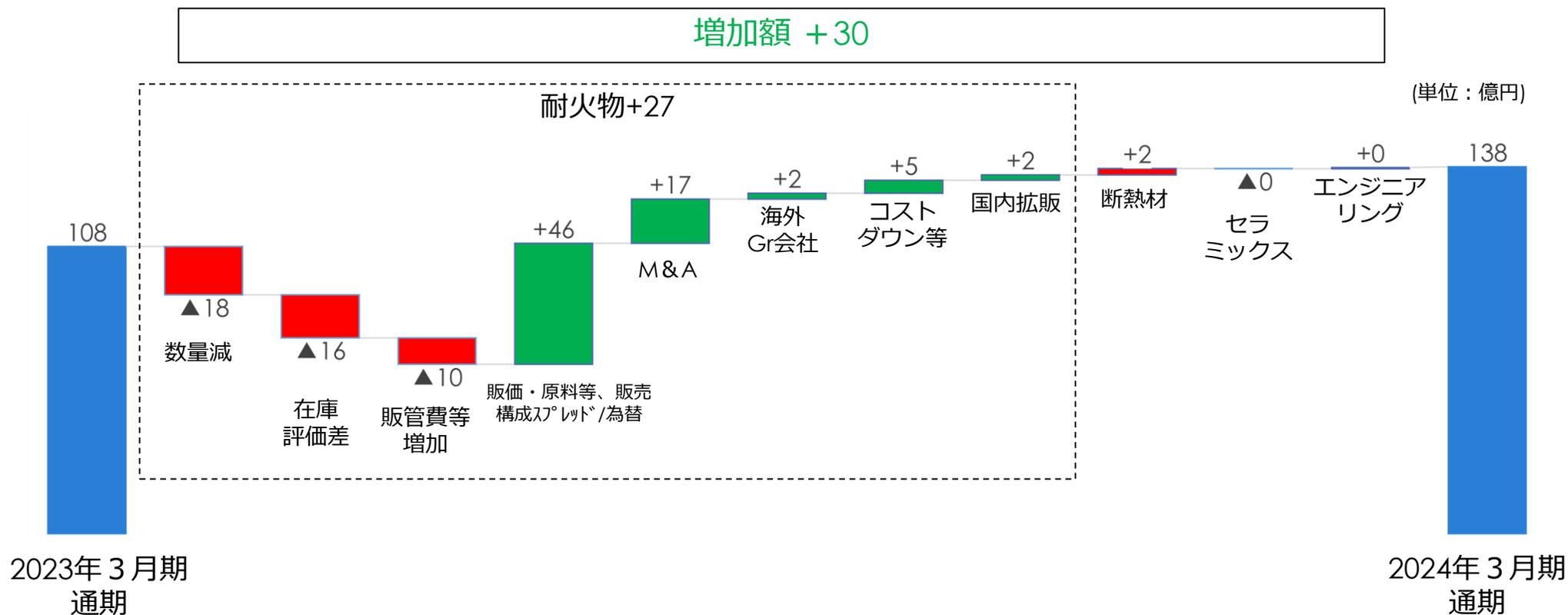
	2023年3月期 実績	2024年3月期 実績	前年同期比	
売上高	1,249	<b>1,441</b>	+192	(+15.4%)
EBITDA	137	<b>176</b>	+39	(+28.5%)
営業利益	108	<b>138</b>	+30	(+28.1%)
経常利益	114	<b>149</b>	+34	(+30.1%)
親会社株主に帰属 する当期純利益	83	<b>152</b>	+69	(+83.9%)
<指標> ROS (営業利益率)	8.7%	<b>9.6%</b>	+0.9pt	

注1：前年同期比は本表記上の数値ではなく、一の位までの実績値で計算しています。以下同様

注2：EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

- 2024年3月期 通期 国内粗鋼生産量は前年同期比1.1%減の8,683万トン。
- 原料費の高止まりや燃料費・電力費の高騰を踏まえた販売価格の改定、販売構成の改善によるスプレッドの拡大、国内外への拡販活動の進展及び新たに加わった海外事業の業績寄与等により売上高・各段階利益共に2年連続で過去最高業績を更新。
- 遊休土地（名古屋市港区）の売却益等により、親会社株主に帰属する当期純利益は83.9%増。

## 2.営業利益（連結）の増減要因



国内粗鋼生産量減少による耐火物数量減、在庫評価差等のマイナス影響に対し、為替変動を踏まえた原料等の上昇に対する販価改定と販売構成の改善によるスプレッドの拡大、今期から新たに加わったブラジル耐火物事業の業績が寄与したこと、海外Gr会社の伸長、コストダウン等により、前年同期比+30億円の増益。

### 3.セグメント別売上高及び営業利益

(単位：億円)

		2023年3月期 実績	2024年3月期 実績	前年同期比	
耐火物	売上高	807	<b>984</b>	+177	(+22.0%)
	営業利益	53	<b>80</b>	+27	(+50.5%)
断熱材	売上高	179	<b>185</b>	+6	(+3.6%)
	営業利益	32	<b>34</b>	+2	(+7.4%)
セラミックス	売上高	21	<b>35</b>	+13	(+64.2%)
	営業利益	1	<b>1</b>	▲0	(▲0.5%)
エンジニアリング	売上高	246	<b>245</b>	▲0	(▲0.2%)
	営業利益	16	<b>17</b>	+0	(+3.7%)
その他（不動産）	売上高	8	<b>9</b>	+0	(+1.3%)
	営業利益	4	<b>5</b>	+0	(+11.4%)
合計	売上高	1,249	<b>1,441</b>	+192	(+15.4%)
	営業利益	108	<b>138</b>	+30	(+28.1%)

注1：当期より報告セグメント区分を上記に変更しており、前年同期についてはセグメント区分変更後の数値に組み替えて比較しています

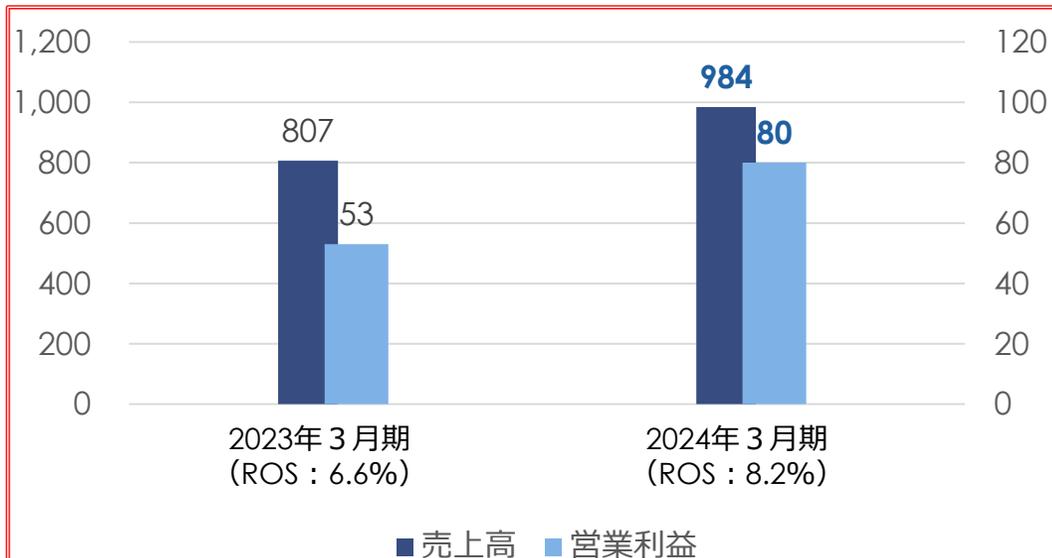
注2：合計額には、セグメント利益の調整額が含まれています

## 4.セグメント別概況 ①耐火物

### 業績推移

(単位：億円)

	2023年3月期	2024年3月期	前年同期比	
売上高	807	984	+177	(+22.0%)
営業利益	53	80	+27	(+50.5%)
ROS (営業利益率)	6.6%	8.2%	-	(+1.6Pt)



### 「業績レビュー」と「今後の課題」

#### <通期業績について>

- ▶原料費の高止まりや燃料費・電力費の高騰を踏まえた販売価格の改定、販売構成の改善によるスプレッドが拡大
- ▶国内外における拡販活動が進展
- ▶ブラジル耐火物事業の業績が寄与

#### <今後の課題>

- ▶Green Refractory※の浸透などサステナビリティへの対応強化
- ▶アルミ市場など非鉄・工業炉分野への業容拡大
- ▶M&A・JVによる現地製造、これによる事業ポートフォリオの拡大

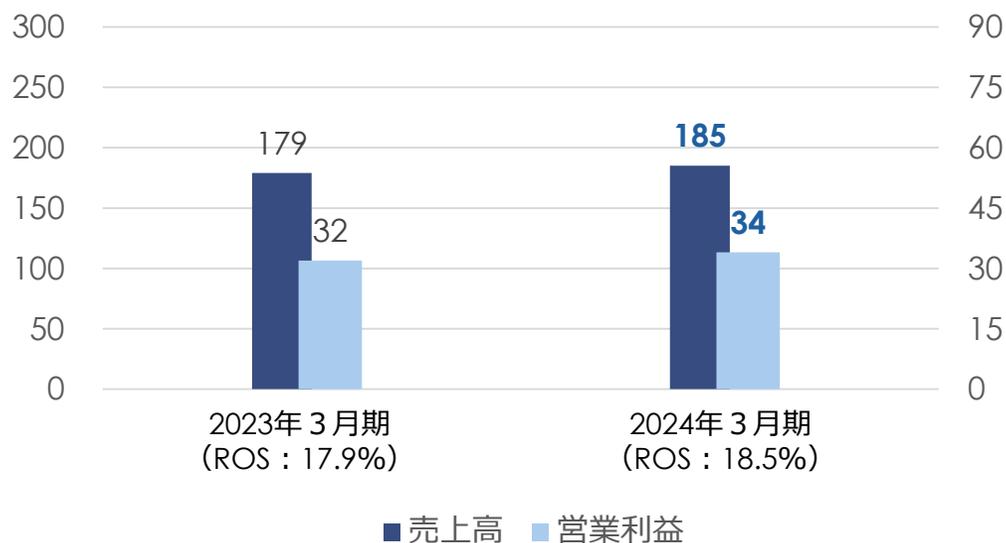
※ Green Refractory：使用后耐火物など実質的にCO2排出をゼロと見做す原料をグリーン原料とし、この原料を20mass%以上活用した製品

## 5.セグメント別概況 ②断熱材

### 業績推移

(単位：億円)

	2023年3月期	2024年3月期	前年同期比
売上高	179	185	+6 (+3.6%)
営業利益	32	34	+2 (+7.4%)
ROS (営業利益率)	17.9%	18.5%	- (+0.6Pt)



### 「業績レビュー」と「今後の課題」

#### <通期業績について>

- ▶ 国内の半導体関連製品の販売は減少
- ▶ 国内外のプラント向け耐火断熱レンガの販売が増加
- ▶ 海外のセラミックファイバーの販売が増加

#### <今後の課題>

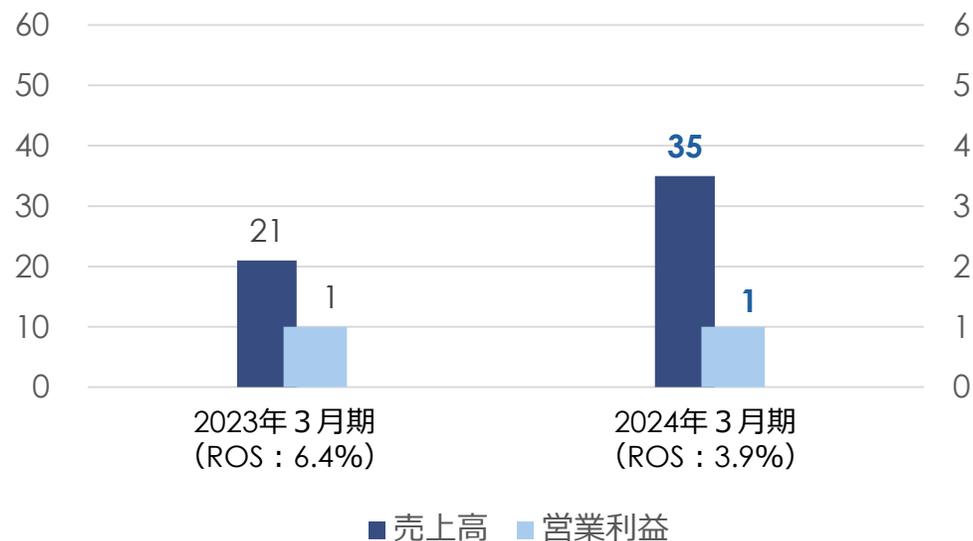
- ▶ 環境負荷を低減する断熱製品のグローバル展開
- ▶ 半導体製造装置関連など成長市場向けへの技術開発力の強化と拡販
- ▶ 積極的なM&Aの推進

## 6.セグメント別概況 ③セラミックス

### 業績推移

(単位：億円)

	2023年3月期	2024年3月期	前年同期比	
売上高	21	35	+13	(+64.2%)
営業利益	1	1	▲0	(▲0.5%)
ROS (営業利益率)	6.4%	3.9%	-	(▲2.5Pt)



### 「業績レビュー」と「今後の課題」

#### <通期業績について>

- ▶ 昨年を買収した米国SSCAの業績が寄与
- ▶ 買収に伴うシステム整備費用等の一時的な支出が増加

#### <今後の課題>

- ▶ 金属代替品としての構造材料から、先端産業における機能性材料への軸足移行
- ▶ 半導体製造装置向け部材や航空機向け関連製品など成長分野への開拓と拡販
- ▶ M&A・JVによる事業ポートフォリオの拡大

# 7.セグメント別概況 ④エンジニアリング

## 業績推移

(単位：億円)

	2023年3月期	2024年3月期	前年同期比
売上高	246	245	▲0 (▲0.2%)
営業利益	16	17	+0 (+3.7%)
ROS (営業利益率)	6.8%	7.0%	- (+0.2Pt)

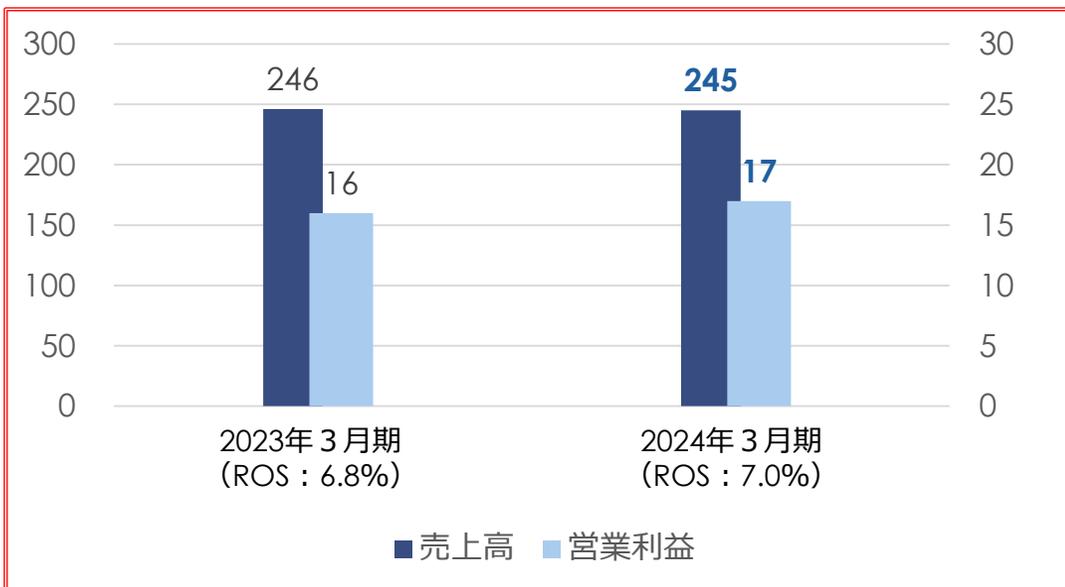
## 「業績レビュー」と「今後の課題」

### <通期業績について>

- ▶ 大型工事案件の減少により売上高は減少
- ▶ 収益性の高い工事案件の増加等により増益

### <今後の課題>

- ▶ カーボンニュートラル案件（大型電気炉、カーボンリサイクル高炉）の受注と工事実施
- ▶ 成長分野（カーボン焼成炉等の工業炉分野）への人材投入と受注拡大
- ▶ 国内・海外での業務提携・M&Aの推進（労働力確保とシナジー効果の追求）



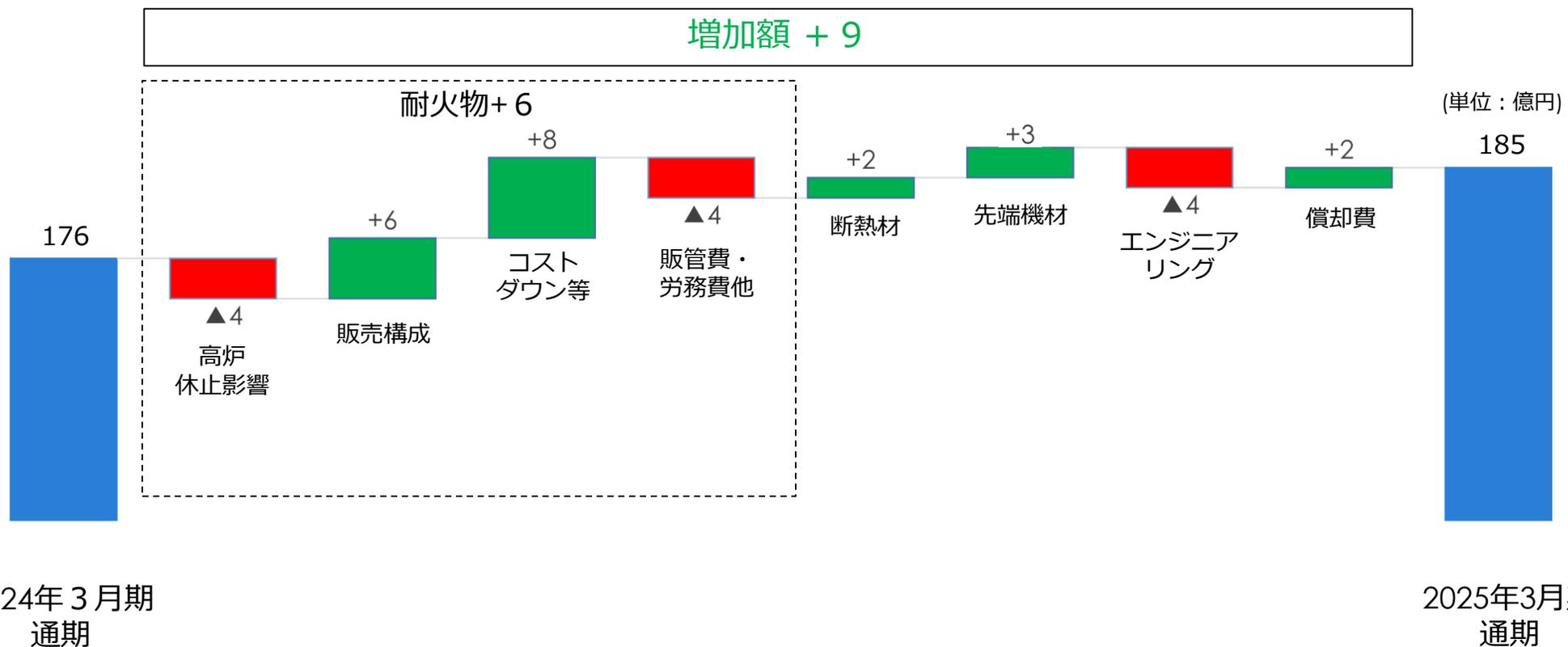
## 8. 2025年3月期通期業績見通し

(単位：億円)

	2024年3月期 通期実績	2025年3月期 通期見通し
売上高	1,441	<b>1,430</b>
EBITDA	176	<b>185</b>
営業利益	138	<b>145</b>
経常利益	149	<b>150</b>
親会社株主に帰属 する当期純利益	152	<b>100</b>
<指標> ROS（営業利益率）	9.6%	<b>10.1%</b>

- 粗鋼生産量は横ばいの見通しであるが、高炉メーカーの高炉休止や大型工事用材料減の影響が大きく、売上高は減少見込み。
- 低収益品の受注見直しや海外向けを中心とした高収益品の拡販、更にコストダウン等により営業利益は増益、経常利益は横ばいの計画。
- 2025年3月期は、前期に発生した遊休土地の売却等が見込まれないため、親会社株主に帰属する当期純利益は減益見込み。

## 9. 2025年3月期通期 EBITDA（連結）の増減要因見通し



- 高炉メーカーの高炉休止影響や大型建設工事の減少により、減益要因が発生する見込み。
- 当社グループ全体による、低収益品の受注見直しや海外向けを中心とした高収益品の拡販、更にコストダウン等で+9億円の増益見込み。

## 10. トピックス (M&A・JV)

	耐火物セクター	先端機材セクター※
目的	インドネシアにおける業容拡大	需要の拡大が見込まれる半導体製造装置に関する人材と知見を確保し、事業を拡大
設立会社	PT. Shinagawa Refratech Perkasa	コムイノベーション株式会社
所在地	インドネシア ボゴール市	京都府 京都市
事業内容	不定形耐火物の製造・販売及び定形耐火物等の仕入販売	半導体製造装置(洗浄装置)の組立・検査
資本金	2,227 億 19 百万ルピア (約 20 億 49 百万円)	700万円
出資比率	品川リフラクトリーズ株式会社(当社) 51% PT.Refratech Mandala Perkasa 49%	品川リフラクトリーズ株式会社(当社)100%
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> <li>製品ラインナップの充実やサービス向上</li> <li>多岐に亘るお客様ニーズへの対応力を強化</li> <li>インドネシア市場を起点とした ASEAN地域への一層の事業拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当社Grのファインセラミックス事業及びセラミックファイバー事業との連携を強化</li> <li>半導体製造装置業界に向けた一層の浸透と事業拡大</li> <li>本事業を今後の成長の柱として注力</li> </ul>

※2024年度よりセラミックスセクターから組織改編

## ご注意

本資料は、2024年3月期決算（2023年4月～2024年3月）の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘することを目的としたものではありません。

また、本資料は、2024年5月13日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証又は約束するものではなく、また、今後予告なしに変更されることがあります。